

博士課程教育リーディングプログラムフォローアップ報告書(平成24年度)

博士課程教育リーディングプログラム委員会

プログラム名称	One Healthに貢献する獣医科学グローバルリーダー育成プログラム	申請大学名	北海道大学
申請大学長名	佐伯 浩		
プログラム責任者	山口 佳三		
<p>1. 進捗状況概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年4月からプログラムがスタートし、学生の受け入れを始めている。入学者選抜の倍率が高くないので、更に優秀な人材を集めるための工夫が必要である。 ・学生によるプログラムの実施など、学生が積極的に研究活動に関わる試みが始められ、軌道に乗っているように見受けられる。 <p>2. 意見(改善を要する点、実施した助言等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに行なってきた同様のCOEプログラムとの違いをもっと明確にすべきである。COEプログラムは研究プログラムであり、優秀な研究を行なうことが主眼であるが、本プログラムはグローバルなリーダーを育成するための教育プログラムである。現状では、優秀な研究成果をあげることが目的にした人材育成プログラムの発想にとどまっており、優れた研究者は育成したが、グローバルリーダーにはなれないという結果に陥る危険性がある。 ・One Healthに貢献するグローバルリーダーに必要な資質とは、単なる高度な研究資質のみに留まるものではないはずである。その点を明確にし、カリキュラムに反映させる必要がある。また、そのようなリーダー育成のためには、入学者選抜や広報についても十分に検討する必要がある。 ・グローバルリーダーを育成するためには、卒業生のキャリアパスについて、より詳細な目標設定と職場開拓が必要と思われる。世界で活躍するリーダーシップの能力は、どのような職場で、どのような局面で発揮されるのか、国際機関、国内の省庁、国内外のNPO、国内外の会社、更に外国政府の顧問など、さまざまな可能性を探り、そのような場所ではどのような人材が必要とされているのか、教員が相手方にこのプログラムを説明し、人材の売り込みを図る必要がある。その過程で得られた意見を取り入れ、プログラム内容を修正することも必要である。 ・プログラムで育成される人材を必要としている途上国などから優秀な人材を積極的にリクルートすることも必要である。 ・国際的に活躍する人材を養成するのであれば、基礎的な英語力とともに、単に語学という意味よりも広いコミュニケーション能力が必要である。その双方の育成のために、更に工夫が必要である。 			